

WakuWaku Explosion 2030

“ワクワクする未来” に挑戦する会社へ



Sanyo
Chemical
Interface Innovator

1 ありたい姿

2 ありたい姿に向けた変革

3 変革を支える活動

4 サステナビリティへの取り組み



Sanyoのありたい姿 (Mission, Values)

社是 「企業を通じてよりよい社会を建設しよう」

実現したい社会

- ・ 環境と調和した循環型社会
- ・ 健康・安心にらせる社会
- ・ 一人ひとりがかがやく社会

Sanyoの貢献

環境を支える

カーボンニュートラルへの貢献

人とくらしを支える

QOLの向上

多様性を支える

働きがいの向上

大切にすること
(Values)

- ・ すべてのステークホルダーのワクワク
- ・ 環境・社会的価値と経済価値をステークホルダーと共創*
- ・ 社員一人ひとりが価値の創出に貢献

*) 共創 : 全ステークホルダーと共に価値を築き上げていく。

Sanyoのありたい姿 (Vision)

全従業員が誇りをもち、働きがいを感じる
グローバルでユニークな高収益企業に成長する



多様な一人ひとりの新しい発想を源泉に、
当社と全ステークホルダーの「ちから」を掛け合わせ、
スピード感ある挑戦を実行し続けることで化学の枠を越えてイノベーションを起こす

1 ありたい姿

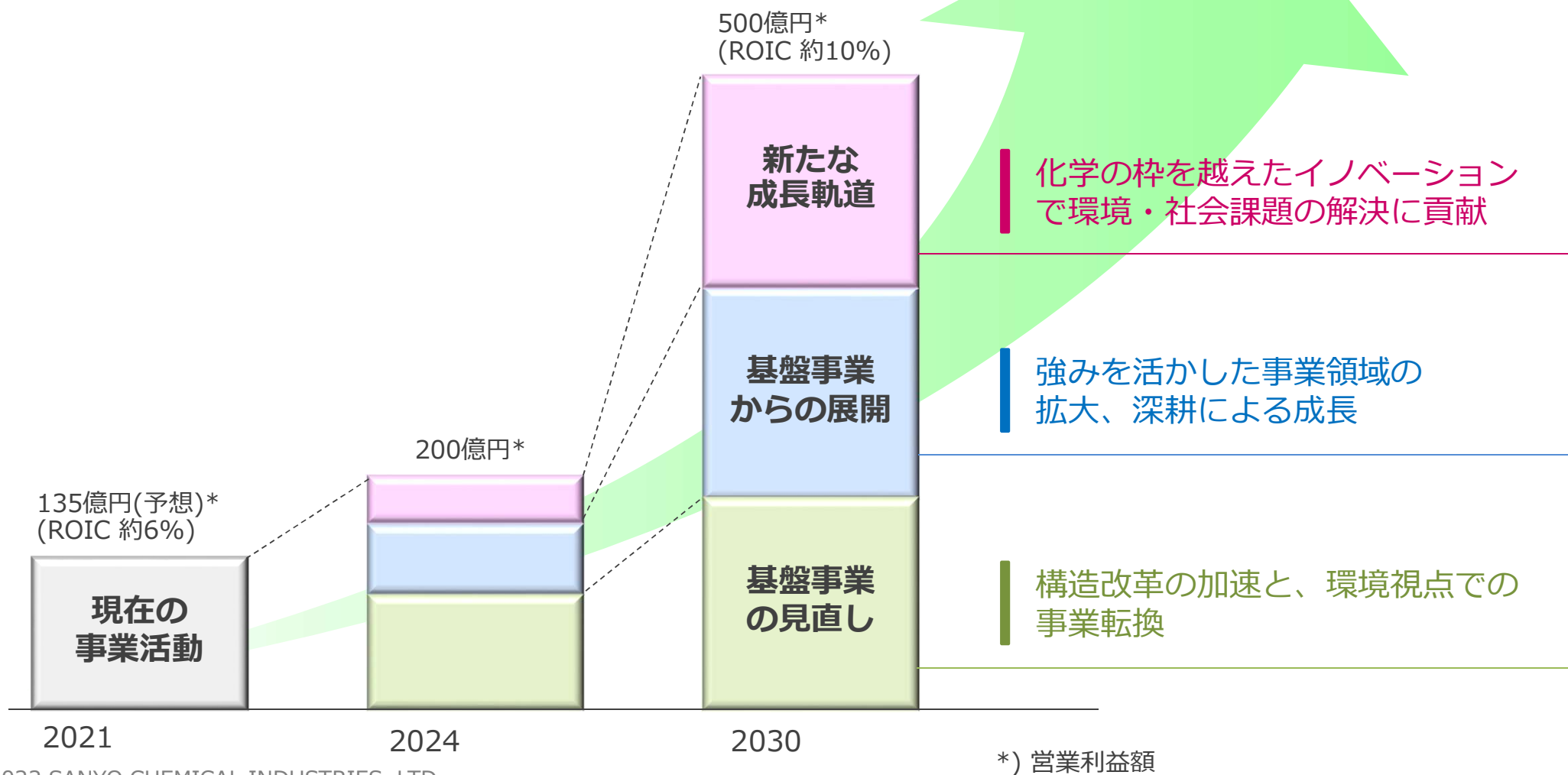
2 ありたい姿に向けた変革

3 変革を支える活動

4 サステナビリティへの取り組み



ありたい姿に向けた変革



新たな成長軌道

- ・環境・社会課題視点で**新たな価値を創出**
- ・戦略的な**アライアンス**、M&Aの強化による新分野への進出
- ・大学との共同研究による世界トップレベルの強み獲得

環境を支える

カーボンニュートラルへの貢献

(1) CO₂回収・利用・貯留

強み

・イオン液体

新たな価値創出

・CO₂回収から有効利用までのケミカルソリューション

社会貢献

・CO₂排出削減



(2) エネルギーマネジメント

強み

・無機粒子被覆技術

新たな価値創出

・次世代デバイス



社会貢献

・再生可能エネルギーの普及
・省エネ化

人と暮らしを支える

QOLの向上

(1) 匂いセンサー

強み

・界面制御技術を応用した匂い分子の識別

新たな価値創出

・匂いを高精度に識別する素材
・AIを利用した革新的デバイス

社会貢献

・匂いの可視化
・食・健康・生活の質の向上



(2) ペプチド農業

強み

・高効率ペプチド生産システム

新たな価値創出

・ペプチドの有効活用で植物本来の機能を引き出す
・化学肥料/農薬の使用量低減

社会貢献

・高付加価値作物や高機能健康食品の創出
・6次産業発展



基盤事業からの展開

- ・環境・社会課題視点の事業展開
- ・強みある事業のグローバル展開
- ・アライアンスによる競争力強化

環境を支える

カーボンニュートラルへの貢献

(1) 温室効果ガス排出削減への貢献

- ①省燃費化
 - ・潤滑油添加剤のグローバル展開
- ②風力発電用 炭素繊維集束剤のグローバル展開



(2) 循環型社会への貢献

- ①水資源を守る無機物分散技術の活用
- ②バイオマス資源の利活用
- ③水系塗料分野のグローバル協業
- ④水の使用量を削減させる洗浄基剤のグローバル展開
- ⑤マテリアルリサイクルへの貢献
(リサイクルPETを用いた画像薬剤等)



人と暮らしを支える

QOLの向上

(1) ヘルス・メディカルケア

- ①高度管理医療機器：非生物由来で安全な外科用止血材
- ②遺伝子組み換え医療機器：日本初の人工タンパク質
- ③治療医療から予防医療へ：診断事業
- ④化粧品・医薬品分野での資本業務提携により
相互リソース活用した事業拡大、競争力強化
 - ・ヘアケア、スキンケア用基剤
 - ・再生医療用素材



(2) ライフケア

- ①静電気除去
 - ・永久帯電防止剤事業のグローバル展開
- ②快適睡眠
 - ・低反発ウレタンフォーム原料



基盤事業の見直し

環境 × 人とくらし を支える

カーボンニュートラルへの貢献 × QOLの向上

(1) 既存事業の構造改革

リソースシフト

- ・ 社会・環境課題への貢献価値が大きく、自社の強みが活かせる成長市場へのシフト



収益力の強化

- ・ 資本コストの導入定着による稼ぐ力の強化



(2) 環境負荷が高く不採算な事業の体制見直しや撤退

- ・ 社会・環境課題への貢献、自社の強み、市場成長性を観点に、全ステークホルダーにとってベストな選択を決断



- ・ 環境・社会課題視点で事業ポートフォリオの抜本的な見直し
- ・ **グローバル**での競争力強化
- ・ サプライチェーン全体での改革、スマートプラントの構築

(3) グローバル全拠点での競争力強化

- ・ PPG事業：アジア地区に拠点確立（タイ：GC Polyols社）
生産効率化、収益性の抜本的改善
- ・ 潤滑油添加剤事業：韓国に拠点確立
（韓国：韓国三洋化成製造株式会社）
- ・ 永久帯電防止剤事業、界面活性剤事業
：タイに生産設備新設



(4) サステナブルなサプライチェーンの構築

- ・ サプライチェーン全体の統合情報の一元化かつ共有化
- ・ 自然環境面、労働環境面、人権等の視点を原料調達方針に追加
- ・ グリーン調達の強化（RSPO*認証の取得）
*）持続可能なパーム油のための円卓会議
- ・ プラスチックリサイクルへの貢献
- ・ 省資源・廃棄物削減の強化



1 ありたい姿

2 ありたい姿に向けた変革

3 変革を支える活動

4 サステナビリティへの取り組み



変革を支える活動

多様性を支える

働きがいの向上

11

“全部署がプロフィットセンター”

- ・ Sanyo Groupの従業員一人ひとりが主役。
- ・ 全員にスポットライトを当て、ワクワクする業務を推進。

事業本部

・ 事業

潤滑添加剤、画像薬剤、
バイオ・メディカル、
高機能マテリアル、
インダストリアル関連、
界面活性剤、ウレタン材料、
エネルギー、デジタル嗅覚
ビューティー&パーソナルケア

・ 営業所（名古屋、広島、福岡）

関係会社

SCST, SST, DX (上海)
SKN, SDN (南通)

SKK, SMK, SNKL (韓国)

SANAM (米国)

SNL, SA, SDP
SPCC, SCC (日本)

STW (台湾)

SDPM (マレーシア)

SKT (タイ)

SCTI (米国)

One Team

コーポレート

・ 人事、総務、事務、監査、ERP、企画
管理、業務（営業、研究）、
レスポンシブルケア

生産関連

- ・ 生産企画、購買、エンジニアリング
- ・ 工場（京都、名古屋、衣浦、鹿島）、物流

“全部署がプロフィットセンター”

一人ひとりが輝き達成感を味わえるような会社を目指して、
生産現場やコーポレート機能の従業員も存在感を持ってプロフィットに貢献。

もっと安全に、もっと快適に

(1) スマートプラントの構築： ヒト・モノ・情報をつなぎ工場全体を最適化

- ・計装化・自動化
(高度自動化プラント、自動検査システムなど)
- ・損益分岐点稼働率の改善、老朽化設備の戦略的更新
- ・受発注・物流システムの効率化、適正在庫の追求

(2) コンプライアンスの遵守、 および環境との調和

- ・安全文化レベルの把握と向上、教育体制の強化
- ・ゼロ災・ゼロクレーム・ゼロ不良品の達成



プロフィットを産み出すコーポレート機能

(1) 多様性の尊重と協働

<人事理念> 『多様性の尊重と協働』

- ・一人ひとりが互いの個性を認め合い、個の繋がりによる相乗効果で新たな価値を創造する。

<人事ポリシー> 『従業員が最も活躍できる環境を作り出す』

- ・個の能力が最大限発揮され、有効に機能する環境を作り出すことで、従業員の働きがいや誇りへ繋げる。
(能力をより活かせる等級制度、能力・役割に応じた報酬制度、公正で透明な評価制度、マネジメント力や専門性を意識した人材育成)

(2) 知的資本の活用

- ・競争優位の確立：
IPランドスケープ(知財環境分析に基づいた経営戦略)の実践
- ・化学分析専門部隊による化学分析技術を活用した事業横串のコンサルティング活動

(3) 事業活動の質向上

- ・管理・経理・財務・法務・総務・人事・
知財・化学分析それぞれの視点
から事業部と価値を共創



“全部署がプロフィットセンター”

働き方改革

(1) DEI

「一人ひとりが安心して活躍できる企業を目指す」

<女性活躍推進>

- ・“輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会”に賛同
- ・“女性のためのエンパワーメント21世紀塾”に参画



<“フェア”な働き方の浸透>

- ・育休復職支援、男性育休推進
- ・外国人や中途人財、シニア人財の活躍、障がい者雇用の拡大

<LGBTQ理解促進の取り組み>

- ・“Business for Marriage Equality”に賛同
- ・各地レインボープライドパレードへの積極参加
- ・YouTuberかずえちゃんとの協働



(2) 職場改革

<健康経営の推進>

- ・健康経営を周知・浸透させ、健康への取り組みを推進する会社・労働組合・健康保険組合の三位一体体制の確立
 - ・経営陣含めた“健康推進会議”の設置
 - ・各事業所の従業員による“健康推進チーム”の設置
 - ・各地区総務・業務部による丁寧なバックアップ

<クリエイティブな業務推進>

- ・業務効率化の推進（基幹業務システムの刷新）
- ・社内複業制度の導入など

<オフィス内ABW*>

- ・既設のリノベーション、グループアドレス化
- *) Activity Based Workingの略



13

DXを通じた企業変革

「クリエイティブな働き方へ」

STEP-0 (これまで)

- ・業務革新ワーキングチーム活動
- ・在宅勤務、テレワーク環境整備

STEP-1

- ・デジタル組織の強化
- ・デジタル人財の育成

STEP-2

- ・業務生産性の向上
- ・業務付加価値の向上

STEP-3

- ・既存事業のビジネスモデル変革
- ・イノベーションプラットフォームの構築



1 ありたい姿

2 ありたい姿に向けた変革

3 変革を支える活動

4 サステナビリティへの取り組み



企業活動を支えるサステナビリティへの取り組み

Sanyoの貢献

環境を支える

カーボンニュートラルへの貢献

人と暮らしを支える

QOLの向上

多様性を支える

働きがいの向上

これまでの取り組み

E

- ・CO₂排出削減
- ・“三洋の森”活動
- ・SDGs関連テーマの創出
- ・廃棄物削減、水資源保護
- ・化学物質排出削減
- ・グリーン調達

**S
&L**

- <働き方改革の推進>
 - ・女性、LGBTQ活躍
 - ・“フェア”な働き方
 - ・ムリ・ムダ・ムラ排除
- <近隣教育機関と連携>
 - ・出張授業、社会見学の実施
- <安全・安心な現場>

G

- <体制>
 - ・独立社外取締役 $\geq 1/3$
 - ・指名・報酬委員会
 - ・コンプライアンス委員会
- <施策>
 - ・株主総会決議の電子行使
 - ・取締役会実効性アンケート

強化する取り組み

2050年 CO₂排出ネットゼロ企業へ

- ・サプライチェーン全体でCO₂削減
- ・エコ製品比率の向上

全ステークホルダーがワクワクする会社へ

- ・地域社会の価値創出を下支え
(京都の伝統技術継承への貢献など)
- ・多様な価値観を認め合う職場環境
 - ・リーダー層の多様性確保 (女性や外国人活躍)
 - ・従業員エンゲージメントの向上

透明性のある経営の徹底

- ・非財務情報の開示充実
 - ・経営理念や経営戦略、経営計画
 - ・コーポレートガバナンスに関する考え方と方針
- ・取締役会の多様性確保と実効性向上
- ・株主との対話の充実
 - ・アンケートの実施
(株主通信や株主総会についての感想など)
 - ・取締役会へアンケート結果のフィードバック



サステナビリティ行動計画

16

E	カーボンニュートラルへの貢献	直接排出(Scope1) + 間接排出(Scope2)	
		2030年目標 2050年目標	CO ₂ 削減 50%以上削減 (2020年度比) ネットゼロ
	サーキュラーエコノミーへの貢献	2024年目標 2030年目標	エコ製品比率* 35%以上 エコ製品比率* 50%以上
			*) 弊社独自指標 (2020年度30%)
S & L	地域社会の価値創出を下支え	・ 地域社会が抱える課題に対し、ものづくりを通して新たな価値を創出し、需要拡大と産業活性化へ貢献	
	多様な価値観を認め合う職場	・ DEIの推進、心理的安全性の向上、働きがいのある職場への改革 ・ 人々の持続可能な暮らしを応援し、QOL向上へ貢献	
G	非財務情報の開示充実	・ 気候変動に係るリスク及び収益機会、人的資本や知的財産への投資 ・ 人権尊重、従業員の健康・労働環境、公正・適正な取引に関する基本方針 ・ 事業ポートフォリオに関する基本的な方針、品質保証管理方針	
	取締役会の多様性確保と実効性向上	・ 取締役スキルマトリックスの開示 ・ 独立社外取締役比率： 取締役会≥1/3、指名・報酬委員会過半数 ・ 取締役会女性比率≥30% ・ 経営と執行の分離	

サステナビリティ行動事例

E

カーボンニュートラル
への貢献

事業ポートフォリオの抜本的な見直しを含め、サステナブル経営を力強く推し進めることでGHGの削減に貢献する。

基盤事業の見直し

- ・CO₂排出量削減のためのポートフォリオの見直し
- ・スマートプラントの構築
- ・グリーン調達強化

基盤事業からの展開

- ・グローバル視点でアライアンス強化
- ・バイオマス資源の利活用
- ・マテリアルリサイクルへの貢献
- ・エコ製品比率の向上

新たな成長軌道

- ・社会全体を前提としたアライアンス強化
- ・CO₂回収・利用・貯留
- ・再生可能エネルギーの普及への貢献
- ・ペプチド農業によるN₂O削減

GHG排出比率 (2020年度比)

100% (約260万t)

50%

0%

2020年

2030年

2050年

排出GHGの削減

社会全体のGHG削減に貢献

環境・社会課題
視点での事業
転換による削減

排出量

ネットゼロ

(Scope 1,2,3)

吸収・
除去量

サステナビリティ行動事例

E

サーキュラー
エコノミーへの貢献

環境活動計画 「S-TEC 21-24」

環境保護への取り組み

- ・ 政府動向等の解析、関連技術の開発・導入
- ・ 近隣企業や関連企業とのコンソーシアム
- ・ 社内制度の整備（社内カーボン・プライシングの導入）
- ・ 「地球温暖化対策条例に基づく排出量削減計画制度」の特別優良事業者としての責務を果たす
- ・ 環境負荷削減の推進
 - ①エネルギー使用量：省エネ法に規定の活動評価指標で最高のSランク（▲5%）を目指す
 - ②用水使用量：対象を原単位から総量に拡大
 - ③化学物質排出量の削減：対象を国内排出量のみからグローバル排出量に拡大



S & L

地域社会の
価値創出を下支え

京都の伝統技術継承への貢献

- ・ 自治体や地域の企業とともに、
京都伝統産業の継承
に技術の力で貢献する



G

取締役会の多様性確保と
実効性向上

取締役会の実効性向上

- ・ 独立した第三者機関による取締役会メンバー向けアンケートを実施し、取締役会の実効性向上を図る



“ワクワクする未来”を目指して

三洋化成グループは全社一丸となって、
持続可能なよりよい社会へ向けて
多様な課題解決に積極的に取り組んでいきます。

そのために常に新たな目標に向かって
グローバルスタッフを含めた従業員一人ひとりの
働きがい大切にしながら、
全ステークホルダーと共に“ワクワクする未来”に
向かって挑戦していきます。

